

# 安全管理

## - 平成 24 年度クレーン年次点検報告 -

### 技術部クレーン点検 WG

#### 1 はじめに

現在、技術部クレーン点検WGでは、関係法令による定期自主検査が必要なクレーンに対し、使用状況に応じて点検（月次・年次）を実施している。しかし、設置年数による各種部品の経年劣化や走行レールなどの高所における点検では、結果判断および実施自体が困難な状況にある。前述の状況より、今年度も工学部安全・環境保全委員会より、点検費を確保していただき、使用頻度の高いクレーンを対象に専門業者による年次点検を実施したので報告する。

#### 2 年次点検結果

自然科学研究科実験棟 環境防災実験室

- ・東洋ホスト YH-28H ET-77（定格荷重 2.8t）
- ・立会者：戸田（技術部クレーン点検WG）、池崎（構造・解析WG）

点検結果：特に問題なし

工学部研究実験棟 構造材料実験室

- ・日立ホスト 2.8LS-TS55（定格荷重 2.8t）
- ・立会者：戸田（技術部クレーン点検WG）、池崎（構造・解析WG）

点検結果：西側走行ブレーキに若干の開きがあるが使用上問題は無し。また、走行レールの点検では、前回点検時に東側のレールを重点的に点検していたことから、今回は西側を重点的に点検し、問題は無し。

#### 3 今後の活動

今回の年次点検では、2台のクレーン共に重大な不具合は確認されていない。両クレーンについては今年度は使用頻度が高く、吊り荷重も大きかったことから、専門業者による点検で問題が無い結果については、使用（管理）者およびクレーン点検WGにとって重要な意味がある。また、同一業者による点検では、点検者が過去の点検状況を把握していることから、設置場所に応じた適切な点検が行われる点はメリットが多い。

周知のとおり、クレーンは人力では動かすことが出来ないものを動かすための機械であり、使用および管理上の不備による事故では甚大な被害を容易に想像できることから、次年度以降も専門業者による点検の実施を委員会に対して要望し、WGにおいても適切な点検の実施および点検技術の向上に努めていく。

文責 クレーン点検WG 戸田善統